

## 平田地区

### 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

#### 議事要旨

#### 記

■開催日時：平成30年8月31日（金） 18時30分～20時20分

■開催場所：平田集会所

#### ■次第

1. 市長挨拶
2. 本日の趣旨とこれまでのふりかえり
3. 上平田川水門の整備について
4. 旧釜石商業高校周辺の道路の整備について
5. 平田漁港海岸整備について
6. 宅地の整備状況について
7. 土地区画整理事業の換地処分に向けて（今後の流れ）
8. 街路灯の整備について
9. 釜石市区画整理土地活用支援制度について
10. 住宅再建に係る補助制度について
11. 平田地区下水道計画について
12. 意見交換

## 意見交換（住民から市への質問と回答）

### 質問 1

街路灯について、平田小学校国道下をくぐった南側の9 m道路に1箇所または2箇所取り付ければ、子供たちの通学路として安全上良いと思うが考えていただきたい。

### 回答

街路灯につきましては、震災前の設置数を基本として設置箇所の検討をしております。

ただ、地域の皆さんにもご負担はかけますが、防犯灯というものがありますので、そちらとの整合を考えながら調整を図り、是非そこに必要だということであれば切り替えていきたいと考えております。

### 質問 2

東側の防波堤を越えて海岸に下がる場所の、今工事している道路について、できれば山側を通過してすぐ防波堤、倉庫の方に降りるような対策はできないものか。

### 回答

乗越道路と臨港道路を合流させるという計画にしておりますので、乗越道路からすぐ通すのではなく、少し延ばした上で臨港道路と合流させたいと考えております。

### 質問 3

9 m道路のほうは通学路になっているので、街路灯を早めに設置してもらいたい。

### 回答

前向きに調整を進めていきたいと考えております。

### 質問 4

旧国道を県に貸していた私有地が、今はなくなってしまったのだが、どうなるのか。

### 回答

公共用の道路に供与されていた私有地に関しましては、金銭精算ということで処理させていただく予定になっております。

質問 5

旧商業高校のところの迂回路工事の際の工事車両は、1日何台で、どの道路を通るのか。

回答

工事車両は川沿いの道路を通行します。

台数のほうは、工事自体がまだ未発注なので1日何台になるのかはまだ出ておりません。わかりましたらまた皆様に情報をお伝えいたします。

質問 6

県道から旧商業高校までの道路の幅員は、大型車等が安全にすれ違うことが出来るのか。

回答

片側車線で3m確保できておりますので、大型車等の走行は可能であると判断しております。

質問 7

県道から旧商業高校までの工事中の道路の歩道部分をもう少し狭くしても、車道部分を広げるということは出来ないものか。

回答

実際に道路を作る場合、「道路構造令」という基準があり、国の補助金等をもって整備する中で車の交通量により幅員の構成が決まってきます。こちらの道路は幹線道路にはなっておりませんので、国の補助金をもって施工する中では今の幅員構成になっております。

質問 8

バスなどは支障なく通れるのか。

回答

マイクロバスと乗用車であれば十分すれ違える幅員だと考えております。

質問 9

この地域も大型車が難なく通れるというのが将来的に発展していくための大きな要素になると思う。基準がそうなっているからとかではなく、もっとこの地域の将来的なことを見据えて取り組んでほしい。

回答

一部のガードレールを真っすぐのものではなく、川側に少し膨らんだものをつけた箇所もあり、少しでも車道が広がるような形で対応しているということだけのご理解いただければと考えております。

質問 10

今の道路の舗装はこれで終わりか。あまりにも雑だと思うので、市の方で工事担当に厳しく言ったほうがよいのではないか。

回答

現時点で基層まで打っている段階で、舗装自体が完成しているわけではございません。舗装の最終的な仕上げに関しては、旧商業高校脇の拡幅工事と合わせて施工する予定でございます。

質問 11

旧商業高校の道路から上の野球場に行く道路の整備は、市としては何か計画されているのか。

回答

今の計画ではないということになっております。

質問 12

板木山の関係の道路を整備することをできれば考えてもらいたい。

回答

球場のほうに出るといのは道路勾配がかなり急になってしまいますので、計画できるかどうかも含め、今後の課題であると考えております。

質問 13

道路の拡幅については無理だと思うが、センターラインを引いて交通の安全に努めてもらいたい。

回答

センターラインを入れるための幅員の基準がありまして、今の幅員ではセンターラインを引くことができない形になると思います。

質問 14

河川に上り下りするためのタラップに、転落・墜落防止を考慮したものを取り付けてほしい。

回答

タラップの手すりは約束した事項ですので、責任を持って設置します。

質問 15

屯所と集会所の間の道路にミラーをつける検討をしてもらいたい。

回答

そちらには既に1箇所ついております。

質問 16

カーブミラーは2つ付けてもらいたい。

回答

現時点ではどうなるかはわかりませんが、検討したいと考えております。

質問 17

昔の道路にある避難所の大きな看板をどこかに設置し直してほしい。

回答

現場確認の上、対応について検討したいと思います。

質問 18

国道からの埋め立て地のほうの道路の街路灯が、樹木に隠れていて明かりが見えない暗いところがあるので、整備していただきたい。

回答

一度現地のほうを確認させていただいて、必要性を見ながら対応を検討していきたいと考えております。

質問 19

年寄りが多いので、避難する際に、徒歩で 45 号線に上る階段では難しい。どこに避難するのか、誰を連れて避難するのか、渋滞などがおきて逃げ遅れたりしないような車で逃げる避難訓練をすればよいのではないかと。

回答

車避難が可能なところは、これから特に外来者があまりこないところや、地形、道路の幅などの状況により、地区の中でルールを作って避難可能にするというものはできますが、津波に関しては徒歩避難が原則だと考えております。

質問 20

板木山の道路が現在使用できなくなっているが、本来山主が使用できる道路であったはずなので、復興計画以前の問題できちっと対応してもらわないと困る。

回答

現在、石が崩れたり側溝の部分の鉄の部分をもっていかれたりなど、安全性を考えると通行をさせること自体が無理になっているということをご理解いただきたいと思います。

質問 21

公園の整備がまだまだ見えないのだが、もう少しきちっとした形で早急な整備をしてもらいたい。

回答

公園につきましては、区画整理事業の中でどこまでできるかというのが非常に最低限の範囲なものですので、後の将来管理者となる都市計画課と地元の皆さんと意見のキャッチボールをさせていただきながら、検討を進めていきたいと考えておりました。

### 【野田市長閉会挨拶】

小佐野のほうの甲子川に沿ったところもあるのですが、今度高速道路ができて、あの辺は随分整理がなりました。ですから、今私が気にしているところはこちらの平田のほうと、それから中小小川かなと、こう思っているところですが、いずれこの課題を何とか解決していきたいと、こう思っているところでございます。

あと岩手大学さんのほうからも話がありましたけれども、10月から生徒がおいでになるということでございますので、何とか学生が安心して勉学に従事できるように環境整備をしていきたいと思っておりますし、間もなく新しい校舎の工事も入るということでございますので、岩手大学の釜石キャンパスがますます大きくなるわけでございますので、ぜひ釜石は全力を尽くして後押ししたいと、こう思っておりますので、よろしく願いをしたいと思っております。

そういうことで、さまざまな課題が出されましたけれども、これは一つ一つ点検しながら可能な限り皆さんの期待に応えられるようにさせていただきたいと思っております。

今日は、冒頭お話ししましたとおり、道路で当初予定していたスケジュールが商業のほうの道路の工事がおくれるという話をさせていただきましたが、そこと、それから水門のところまで2箇所工事がおくれますということでお話をさせていただきました。大変申しわけございませんけれども、今日は何とか皆さんのご理解をいただいて、その点はご了承いただければと思っております。

先ほど個人的に土地の清算金とか、そういったご質問もございましたけれども、これから土地の使用引き渡しといいますか、土地の使用収益開始日ということがございまして、それぞれ手紙とか連絡が行くと思いますけれども、その後土地を自由に使っていただきながら、最終的には換地、そして清算金ということで、これは今日の説明にもありました平成32年度なのです。

まだまだ先の話ですが、いずれそれまでの間元気でいてもらわなければなりませんけれども、まだちょっと時間がかかるということで、この復興期間中は、宅地はできましたけれども、復興はまだ道半ばだということで、我々としても全力を尽くして一刻も早く完了するように努力をしていきたいと、こう思っておりますので、今日のようにいろいろと課題がございましたときは、どうぞ遠慮なく復興推進本部のほうに連絡をいただいて、一つ

一つ解決をしていただければと思っております。

そういうことで、今日出されました課題については持ち帰って検討させていただきながら、今日話されたことについてはニュースレターできちんと、今日おいでにならなかった方々にもお知らせをさせていただきたいと、こう思っておりますので、どうぞ引き続き復興にご支援とご協力をいただきますことをよろしくお願いを申し上げまして、御礼のご挨拶にかえさせていただきたいと存じます。本日は誠にありがとうございました。